

- 域内搬送 ■
- SCU ■
- 広域医療搬送機内活動 ■
- 本部（調整本部） ■
- 本部（活動拠点本部） ■
- 本部（SCU本部） ■
- 本部（域外拠点本部） ■
- EMIS ■
- その他（ 燃料等供給訓練 ）

平成26年度DMATブロック訓練登録フォーム（中部ブロック）

・ 目的

南海トラフ地震により大きな被害が予測される愛知県を中心とし、中部ブロック各県DMATが緊密な連携を図り、被災地における病院支援、地域医療搬送、広域医療搬送のDMAT戦略のあり方を検証することを目的とした。

・ 日時

平成26年10月11日（土） 7：00（発災）～17：00頃

平成26年10月12日（日） 9：30～12：30

・ 場所・会場

【1日目 実動訓練】

ア 参集拠点本部：中央自動車道多治見IC、東海北陸道関SA、豊川市民病院

イ 活動拠点本部：総合大雄会病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋医療センター、藤田保健衛生大学病院、岡崎市民病院、豊川市民病院（愛知県）いなべ総合病院（三重県）

ウ 病院支援訓練（愛知県）：

海南病院、津島市民病院、市立西部医療センター、中部労災病院、名古屋掖済会病院、名古屋市立大学病院、中京病院、半田市立半田病院、西尾市民病院、豊橋医療センター、豊橋市民病院

エ 病院支援訓練（三重県）：市立四日市病院、三重大学医学部附属病院

オ SCU：航空自衛隊小牧基地、高山自動車短期大学

カ 愛知県DMAT調整本部：愛知県庁

キ 三重県DMAT調整本部：三重県庁

【2日目 訓練検証会】

一般社団法人名古屋銀行協会 大ホール

・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

➤ 参加DMAT 533人（コントローラーを除く）

➤ 参加機関 19機関（災害拠点病院を除く）

航空自衛隊小牧基地、陸上自衛隊第10師団、海上保安庁第四管区海上保安本部、岐阜県、三重県、名古屋市消防局、西春日井広域事務組合消防本部、豊橋市消防本部、田原市消防本部、愛知県警察本部、愛知県、中日本高速道路株式会社名古屋支社、中日本航空株式会社、愛知県医薬品卸協同組合、愛知県医療機器販売業協会、日本産業・医療ガス協会東海地域本部、日本赤十字社愛知県支部、福祉・介護移送ネットワークACT、渥美病院

➤ 模擬患者数 SCU：30人、実動で訓練を行う病院は自病院で手配

➤ コントローラー数 30人

・ 参加車両、航空機

- 民間患者輸送車 2台
- ドクターヘリ 1機
- 航空機(固定翼) 1機(航空自衛隊)
- ヘリコプター
5機(陸上自衛隊、海上保安庁、愛知県警、名古屋市消防、愛知県防災航空隊)

・ 訓練想定

午前7時、南海トラフ地震の発生により、平野部(三重県を含む濃尾平野・豊橋平野)や半島部において、広い範囲にわたり震度6強以上の強い揺れを観測。一部の地域では震度7の強い揺れを観測。

建物倒壊、地盤の液状化、火災等のほか、津波が来襲し、大きな被害を受ける。

通信手段については、愛知県及び三重県全域において携帯電話及び一般電話(災害優先電話を含む)が不通、パケット通信(データ通信)が一部使用可、衛星電話は使用可となっている(参集拠点までは携帯電話による音声通話及びデータ通信可)。

・ 実施項目 (実施した訓練にチェックしてください)

- 参集訓練
- 現場活動(救護所)
- 現場活動(救助現場・CSM)
- 病院支援
- 地域医療搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部(調整本部)
- 本部(活動拠点本部)
- 本部(SCU本部)
- 本部(域外拠点本部)
- EMIS
- その他(避難所調査)

平成26年度DMATブロック訓練登録フォーム（近畿ブロック）

- ・ 目的

奈良県内における大規模災害を想定し、災害発生直後において、近畿府県DMATが関係機関との連携・協力のもと、迅速な医療救護活動、病院支援、広域医療搬送が行えるよう、知識の習得と技術の維持・向上を目的とする
- ・ 日時

平成27年2月14日（土） 8時から17時まで
- ・ 場所・会場
 - ① 橿原運動公園
 - ② かしはら安心パーク
 - ③ まほろば健康パーク
 - ④ 西名阪香芝サービスエリア
 - ⑤ 県内災害拠点病院等
 - (1) 奈良県立医科大学附属病院
 - (2) 済生会中和病院
 - (3) 大和高田市立病院
 - (4) 県立五條病院
 - (5) 土庫病院
 - ⑥ 十津川村（十津川村国民健康保険小原診療所他）
- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数
 - 参加機関 74機関
 - ① 近畿2府4県DMAT 60チーム
 - ② 模擬患者

奈良県立医科大学、奈良県病院協会看護専門学校
奈良県立病院機構看護専門学校（奈良校・三室校）
県立五條病院附属看護専門学校 の学生
 - ③ 奈良県警察
 - ④ 奈良県広域消防組合
 - ⑤ 奈良県防災航空隊（防災ヘリ）
 - ⑥ 十津川村
 - ⑦ 災害に強い大和の町づくりネットワーク
 - ⑧ 日本福祉タクシー協会奈良支部
 - ⑨ NEXCO西日本
 - ⑩ ドクターヘリ（大阪大学医学部附属病院、三重大学医学部附属病院）
 - 参加人数 809人

- ① DMAT 隊員、補助要員（コントローラー除く） 287人
- ② その他訓練参加者（病院職員、消防機関、警察等） 448人
- ③ 訓練協力者（ムラージュサポーター等） 74人

- 模擬患者数 420人、訓練人形 15体
- コントローラー数 42人

- ・ 参加車両、航空機

- 病院緊急車両 38台
- ドクターヘリ 2機
- 消防機関救急車 7台
- 消防機関その他車両 3台
- 航空機、ヘリコプター 1機（所属 奈良県防災航空隊）
- その他（福祉タクシー車両） 5台

- ・ 訓練想定

- ・ 奈良盆地東縁断層帯を震源とする震度7（マグニチュード7.5）の大規模地震を想定（発災時間7時30分）
- ・ 奈良市西部、天理市、桜井市、橿原市、大和高田市に甚大な被害が発生したため、奈良県は近畿管内に対して出動を要請し、当該要請を受けた各府県 DMAT は、被災地へ参集。
- ・ 参集拠点等にて県調整本部からの活動指示を受け、各災害現場において救護活動を実施するとともに、関係機関と連携して訓練を実施する。

- ・ 実施項目（実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他
（消防、警察、福祉タクシー、防災ヘリ、ドクターヘリとの連携訓練）

平成26年度DMATブロック訓練登録フォーム（中国ブロック）

・ 目的

山口県防府市付近を震源とする大規模地震を想定し、大規模災害等の発生時に迅速・効果的な広域医療体制が確保できるよう、中国地区5県のDMAT及び関係機関と合同して災害医療訓練を実施し、緊密な連携強化を図ることを目的とする。

・ 日時

平成26年11月8日（土） 8:30～15:30（実働訓練）

平成26年11月9日（日） 9:00～11:20（検証会）

・ 場所・会場

山口県庁（災害対策本部、DMAT県調整本部）

山口大学医学部附属病院、山口県立総合医療センター、徳山中央病院、
きらら博記念公園（参集拠点・活動拠点）

山口宇部空港（SCU）

中国自動車道鹿野SA（下り線）（参集拠点）

・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

➤ 参加機関 38機関（DMAT指定医療機関、消防機関）

➤ 参加人数 212人

➤ 模擬患者数 30人

➤ コントローラー数 32人

・ 参加車両、航空機

➤ 病院緊急車両 台

➤ ドクターヘリ 1台

➤ 消防機関救急車 1台

➤ 消防機関その他車両 台

➤ 航空機、ヘリコプター 1機（所属 山口県消防防災航空センター）

訓練想定

防府市付近を震源とする大規模地震が発生。各地で家屋や建築物が倒壊し、要救助者が多数発生
 山口県は県災害対策本部（災害救助部医務班）を設置し、災害医療情報を提供するとともに、県内DMAT、中国各県DMATの派遣を要請

また、患者の県外搬送の必要が生じたことから、山口宇部空港に広域医療搬送拠点を設置する。

実施項目（実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（ ）

平成26年度DMATブロック訓練登録フォーム（四国ブロック）

・ 目的

四国ブロック内のDMAT体制の連携強化等を目的として、4県合同により実動訓練を開催する。
災害時における迅速で円滑な医療救護体制を確保するため、関連機関等とも相互に連携を図り、顔の見える関係づくりを構築し、より実効性の高い訓練を実施するもの。

・ 日時

平成27年1月31日（土） 10:00～16:00

平成27年2月1日（日） 10:00～12:00

・ 場所・会場

西日本高速道路株式会社四国支社香川高速道路事務所
（善通寺市金蔵寺町480）

旧香川県立中央病院（高松市番町5-4-16）

香川県立中央病院（高松市朝日町1-2-1）

香川大学医学部附属病院（木田郡三木町大字池戸1750-1）

香川労災病院（丸亀市城東町3-3-1）

広瀬病院（高松市松縄町35-3）

香川県立保健医療大学（高松市牟礼町原281-1）

・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

- 参加機関 61機関（消防、警察、陸自など）
- 参加人数 **323**人
- 模擬患者数 36人
- コントローラー数 23人

・ 参加車両、航空機

- 病院緊急車両 12台
- 消防機関救急車 10台
- 消防機関その他車両 **60**台
- ヘリコプター 1機（所属 香川県防災航空隊）

・ 訓練想定

平成27年1月31日(土)午前8時00分頃、紀伊半島潮岬沖を震源とするM8.0の地震が発生した。徳島県内では震度6強の揺れを観測し、発生した津波により多数の負傷者が発生した。内閣は、緊急災害対策本部を設置し、香川県に現地対策本部を設置することを東南海・南海地震応急対策活動要領に基づいて決定した。現地対策本部は、香川県が設置・運営することになり、四国四県及び岡山県にDMAT派遣を依頼した。

・ 実施項目 (実施した訓練にチェックしてください)

- 参集訓練
- 現場活動(救護所)
- 現場活動(救助現場・CSM)
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部(調整本部)
- 本部(活動拠点本部)
- 本部(SCU本部)
- 本部(域外拠点本部)
- EMIS
- その他()

平成26年度DMATブロック訓練登録フォーム（九州・沖縄ブロック）

- ・ 目的
救護所活動、病院支援活動における九州・沖縄ブロックDMAT隊の連携及びDMAT隊と消防機関との連携を図る。
- ・ 日時
平成26年11月22日（土） 9時～19時
23日（日） 9時～12時30分
- ・ 場所・会場
①久留米大学医学部体育館
②久留米リバーサイドパーク
③久留米大学病院
④朝倉医師会病院
⑤小波瀬病院
⑥聖マリア病院
- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数
 - 参加機関 49 医療機関
 - 参加人数 244人
 - 模擬患者数 142人
 - コントローラー数 28人
- ・ 参加車両、航空機
 - 病院緊急車両 4台
 - ドクターヘリ 1台
 - 消防機関救急車 37台
 - 消防機関その他車両 台
 - 航空機、ヘリコプター 9機（所属 福岡市、北九州市、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、熊本県、高知県、自衛隊）

- ・ 訓練想定

平成26年11月22日午前9時頃、福岡県久留米市付近にある「水縄断層西部」を震源とする地震が発生し、久留米市で震度6強を観測。

この地震により、山間部では土砂災害が発生し人的・建物等の被害や道路寸断によるライフラインの途絶が発生したほか、市街地においては建物倒壊や多数の火災が発生しており被害が拡大している。

- ・ 実施項目（実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（ ）

平成26年度第1回DMATロジスティックチーム隊員養成研修プログラム Ver.0924

場所：内閣府立川災害対策本部予備施設

日程：平成26年9月27日（土）～28日（日）

月日	時 間	プログラム・講師（敬称略）	場所
第 1 日 目 9 月 27 日 （ 土 ）	10:00 ～ 10:15 15分	開会式 挨拶：厚生労働省医政局地域医療計画課 水野 浩利	
	10:15 ～ 10:45 30分	1. 講義「ロジスティクスの強化について」 講師：国立病院機構災害医療センター 市原 正行	
	10:45 ～ 10:55 10分	休憩・移動	
	10:55 ～ 12:25 90分	2. 実習「EMIS（統括権限）」 講師：国立病院機構災害医療センター 大野 龍男 神戸赤十字病院 中田 正明	
	12:25 ～ 13:25 60分	昼食	
	13:25 ～ 13:55 30分	3. 講義「DMAT戦略・戦術」 講師：国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎	
	13:55 ～ 14:25 30分	4. 講義「東日本大震災におけるロジスティクスの課題と当時の対応について」 講師：国立病院機構村山医療センター 楠 孝司	
	14:25 ～ 14:35 10分	休憩	
	14:35 ～ 16:00 85分	5. 机上演習「DMATロジスティックチームの活動①」 講師：日本医科大学千葉北総病院 渡邊 暁洋 岩手医科大学 藤原 弘之 神戸赤十字病院 中田 正明	
	16:00 ～ 16:10 10分	休憩	
	16:10 ～ 17:40 90分	6. 机上演習「DMAT都道府県調整本部」 講師：岩手医科大学 眞瀬 智彦 国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎	
	17:40 ～ 17:50 10分	休憩	
	17:50 ～ 19:20 90分	7. パネルディスカッション「ロジスティクス強化に向けた関係機関との連携について」 座長：神戸学院大学 中田 敬司 国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎 パネリスト： NEXCO東日本 管理事業本部 防災危機管理チームリーダー 塩月 源次 一般社団法人日本産業・医療ガス協会 医療ガス部門 常務執行役員 福盛 康宏 NPO法人日本福祉タクシー協会 理事長 田中 義行 公益財団法人東京防災救急協会 副理事長 野口 英一 公益社団法人全日本トラック協会 常務理事 齋藤 直也 石油連盟 専務理事 松井 英生	
	第 2 日 目 9 月 28 日 （ 日 ）	9:00 ～ 10:30 90分	8. 実習「DMAT本部の通信確保実習」 講師：済生会宇都宮病院 林 洋克 独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA） 久本 康慶 国立病院機構災害医療センター 大野 龍男
10:30 ～ 10:40 10分		休憩	
10:40 ～ 11:50 70分		9. 机上演習「DMATロジスティックチームの活動②」 講師：愛知医科大学病院 小澤 和弘 国立病院機構大阪医療センター 鈴木 教久 神戸学院大学 中田 敬司	
11:50 ～ 12:50 60分		昼食	
12:50 ～ 13:40 50分		10. 机上演習「DMATロジスティックチームの活動③」 講師：愛知医科大学病院 小澤 和弘 国立病院機構大阪医療センター 鈴木 教久 神戸学院大学 中田 敬司	
13:40 ～ 13:50 10分		休憩	
13:50 ～ 15:50 120分		11. 総合演習「DMATロジスティクス拠点の設置・運営」 講師：国立病院機構村山医療センター 楠 孝司 国立病院機構箱根病院 吉川 敏 神戸赤十字病院 中田 正明 福島医科大学附属病院 島田 二郎 国立病院機構災害医療センター 近藤 祐史 国立病院機構災害医療センター 市原 正行	
15:50 ～ 16:00 10分	閉会式		

平成26年度第2回DMATロジスティックチーム隊員養成研修プログラム Ver.1225

場所：国立病院機構災害医療センター

日程：平成26年12月27日（土）～28日（日）

月日	時間	プログラム・講師（敬称略）	場所
第 1 日 目 12 月 27 日 （ 土 ）	10:00 ~ 10:10 10分	開会式 挨拶：厚生労働省医政局地域医療計画課 生駒 隆康	災害医療センター 外来棟4階 地域医療研修センター
	10:10 ~ 10:30 20分	1. 講義「ロジスティクスの強化について」 講師：国立病院機構災害医療センター 市原 正行	
	10:30 ~ 10:40 10分	休憩	
	10:40 ~ 12:10 90分	2. 実習「EMIS（統括権限）」 講師：国立病院機構災害医療センター 大野 龍男 神戸赤十字病院 中田 正明	
	12:10 ~ 13:00 50分	昼食	
	13:00 ~ 13:30 30分	3. 講義「DMAT戦略・戦術」 講師：国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎	
	13:30 ~ 15:00 90分	4. 机上演習「DMAT都道府県調整本部」 講師：岩手医科大学 眞瀬 智彦 福島医科大学附属病院 島田 二郎 国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎	
	15:00 ~ 15:10 10分	休憩	
	15:10 ~ 15:30 20分	5. 講義「東日本大震災におけるロジスティクスの課題と当時の対応について」 講師：国立病院機構村山医療センター 楠 孝司	
	15:30 ~ 17:20 110分	6. 机上演習「DMATロジスティックチームの活動①」 講師：日本医科大学千葉北総病院 渡邊 暁洋 岩手医科大学 藤原 弘之 神戸赤十字病院 中田 正明 国立病院機構災害医療センター 近藤 祐史	
	17:20 ~ 17:30 10分	休憩	
	17:30 ~ 19:00 90分	7. パネルディスカッション「ロジスティクス強化に向けた関係機関との連携について」 座長：神戸学院大学 中田 敬司 国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎 パネリスト： NEXCO東日本 管理事業本部 防災危機管理チームリーダー 塩月 源次 一般社団法人日本産業・医療ガス協会 医療ガス部門 常務執行役員 福盛 康宏 NPO法人日本福祉タクシー協会 理事長 田中 義行 公益財団法人東京防災救急協会 副理事長 野口 英一 公益社団法人全日本トラック協会 常務理事 齋藤 直也	
第 2 日 目 12 月 28 日 （ 日 ）	9:00 ~ 10:30 90分	8. 実習「DMAT本部の通信確保実習」 講師：調整員 独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA） 越川 尚清 済生会宇都宮病院 林 洋克 岩手医科大学 藤原 弘之 医師・看護師）兵庫県災害医療センター 安藤 和佳子 国立病院機構災害医療センター 大野 龍男	災害医療センター 外来棟4階 地域医療研修センター 調整員：第4会議室/本館屋上 医師・看護師：看護学校2・3教室 /看護学校屋上
	10:30 ~ 10:40 10分	移動・休憩	
	10:40 ~ 12:00 80分	9. 机上演習「DMATロジスティックチームの活動②」 講師：愛知医科大学 小澤 和弘 国立病院機構大阪医療センター 鈴木 教久 神戸学院大学 中田 敬司	外来棟4階 地域医療研修センター
	12:00 ~ 12:50 50分	昼食	
	12:50 ~ 14:00 70分	10. 机上演習「DMATロジスティックチームの活動③」 講師：愛知医科大学 小澤 和弘 国立病院機構大阪医療センター 鈴木 教久 神戸学院大学 中田 敬司	
	14:00 ~ 14:10 10分	移動・休憩	
	14:10 ~ 15:50 100分	11. 総合演習「DMATロジスティクス拠点の設置・運営」 講師：国立病院機構村山医療センター 楠 孝司 神戸赤十字病院 中田 正明 福島医科大学附属病院 島田 二郎 国立病院機構災害医療センター 近藤 祐史 国立病院機構災害医療センター 市原 正行	看護学校2階 体育館
	15:50 ~ 16:00 10分	閉会式	

平成26年度DMATロジスティックチーム隊員養成研修の概要について

1. 目的

この事業は、DMAT都道府県調整本部等の本部業務において、統括DMAT登録者をサポートし、また、主に病院支援や情報収集等のロジスティクスを専門とした活動を行うDMATロジスティックチームの養成を目的とした研修を実施する。

2. 対象者

- ①日本DMAT隊員であって、DMATインストラクターまたはタスクとして厚生労働省DMAT事務局に登録されている者
- ②日本DMAT隊員でないが、特に災害時のロジスティクスに優れた人材として、厚生労働省が推薦する者

3. 研修実施期間

原則1回につき2日間

4. 研修内容(案)

- DMATロジスティックチームの活動について
- DMATの指揮・調整のあり方
- 広域災害救急医療情報システムの操作実習
- DMAT本部の通信確保実習
- DMAT都道府県調整本部の役割
- DMAT活動拠点本部の役割
- DMAT・SCU本部の役割
- ロジスティック拠点の運営について

5. 平成26年度実施会場及び日程

回	開催日	会場	修了人数
第1回	平成26年9月27日(土) ～28日(日)	内閣府立川災害対策本部 予備施設	72
第2回	平成26年12月27日(土) ～28日(日)	国立病院機構 災害医療センター	86

DMATロジスティックチーム 隊員養成研修

国立病院機構災害医療センター
市原 正行

報告内容

- 東日本大震災でのDMAT活動において認識されたロジスティクスに関する課題への対応のひとつとして、DMATロジスティックチームが新たにつくられることとなった。
- 2014年9月及び12月に災害医療センターにおいてDMATロジスティックチーム隊員養成研修が実施されたのでその概要を報告する。

DMATロジスティックチーム

(日本DMAT活動要領)

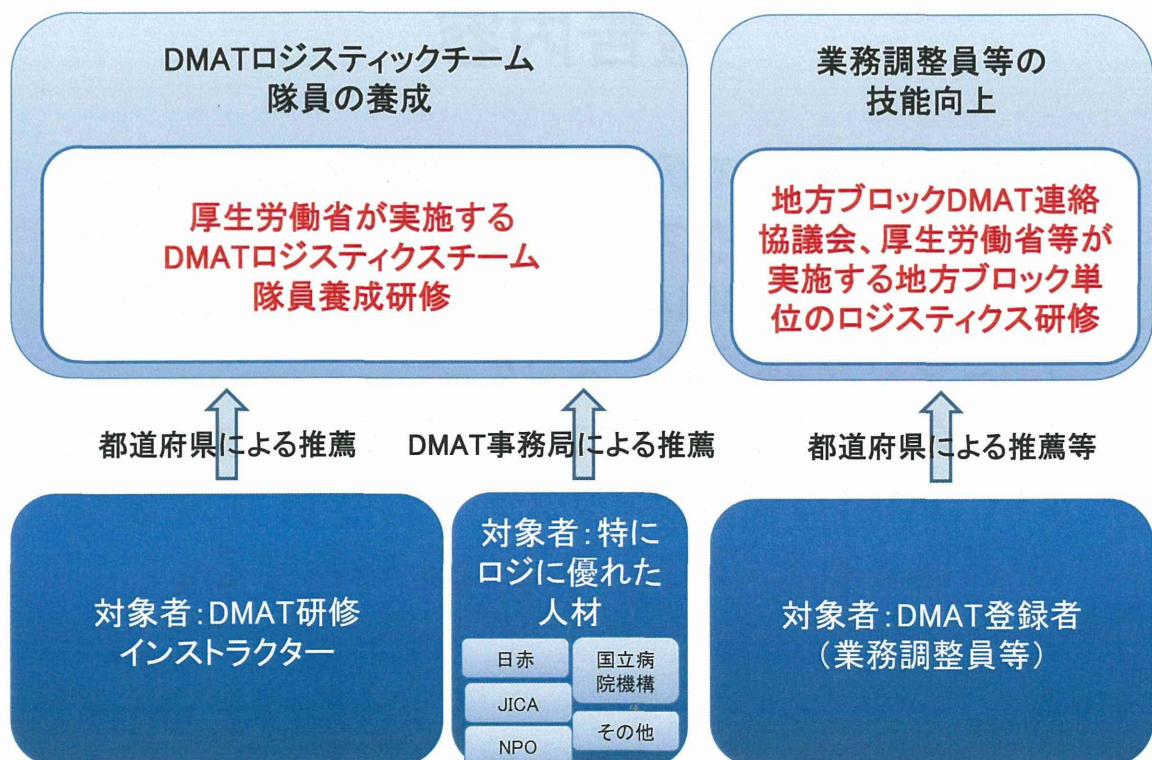
- ロジスティクス
 - DMATのチームの一員としてのロジスティック担当者に加え、DMATロジスティックチームがロジスティクスを担う。
- DMATロジスティックチーム
 - DMATロジスティックチームは、DMAT都道府県調整本部等の本部業務において、統括DMAT登録者をサポートする。
 - DMATロジスティックチームは、主に病院支援や情報収集等のロジスティクスを専門とした活動を行う。

DMATロジスティックチームの2つの役割:

- 指揮支援(本部活動)
- ロジスティクス

3

DMATロジスティックチーム隊員の養成等について



平成26年度DMATロジスティックチーム 隊員養成研修について

- 目的
 - DMAT都道府県調整本部等の本部業務において、統括DMAT登録者をサポートし、また、主に病院支援や情報収集等のロジスティクスを専門とした活動を行うDMATロジスティックチームの養成を目的とした研修を実施する。
- 対象者
 - 日本DMAT隊員であって、DMATインストラクターまたはタスクとして厚生労働省DMAT事務局に登録されている者
 - (日本DMAT隊員でないが、特に災害時のロジスティクスに優れた人材として、厚生労働省が推薦する者)

平成26年度DMATロジスティックチーム 隊員養成研修について

- 実施実績
 - (第1回)
 - 日程:平成26年9月27日～28日
 - 参加者:104名(DMAT隊員)、8名(関係機関)
 - (第2回)
 - 日程:平成26年12月27日～28日
 - 参加者:106名(DMAT隊員)、7名(関係機関)

平成26年度DMATロジスティックチーム 隊員養成研修について

・ 研修プログラム

(講義)

- DMATのロジスティクスの強化について
- 東日本大震災におけるロジスティクスの課題と当時の対応
- DMATの戦略・戦術について

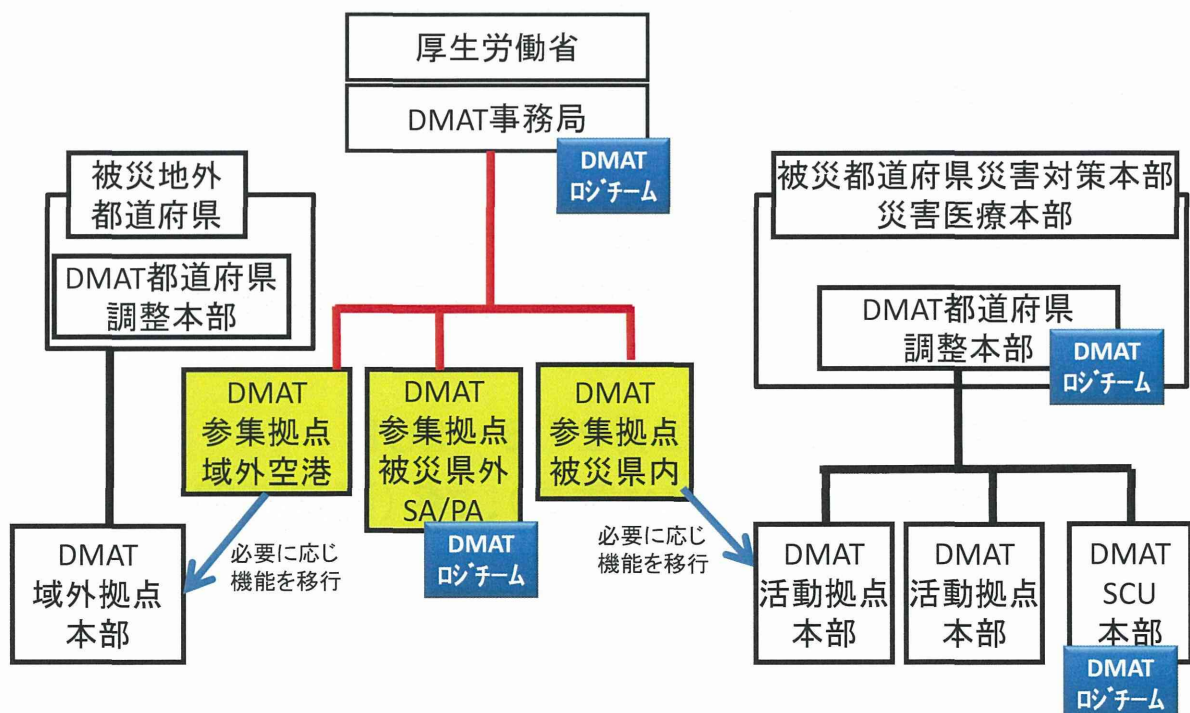
(机上演習)

- DMAT都道府県調整本部の活動
- DMATロジスティックチームの活動(ロジスティクス関連)

(実習)

- DMAT本部におけるEMIS運用
- DMAT本部の通信確保
- 総合演習「DMATロジスティクス拠点の設置・運営」
(パネルディスカッション)
- ロジスティクス強化に向けた関係機関との連携について

災害時のDMATロジスティックチームの配置



DMATロジスティックチームの役割・活動内容

• 役割

– 指揮支援

- 本部要員として統括DMAT登録者をサポート

(具体的な活動内容)

- 各DMAT本部にて本部要員として活動

– ロジスティクス

- 被災地内で活動するDMAT等へのロジスティクス支援

- 被災地内の医療機関等へのロジスティクス支援

(具体的な活動内容)

- DMATロジスティクス拠点の設置・運営
- 関連業界との連携による資源の確保
- 関連業界との連携による交通手段の確保
- 被災地内における通信環境の確保
- 被災地内の道路状況の把握

9

DMATロジスティックチームのC/P

• 都道府県

- 災害対策本部、県庁内の関連部署

• 関係業界

- 関係業界団体、関係業界の民間事業者
- 都道府県の協定締結先

• 指定公共機関

- NEXCO各社
- 日本赤十字社、国立病院機構、日本医師会、地域医療機能推進機構
- その他の指定公共機関

• 公的な実働機関、省庁出先機関など

- 自衛隊・消防・警察・海保等の実働機関・部隊
- 国土交通省地方整備局など関係省庁出先機関
- JAXA

10

関係業界との連携1

- 平時からDMAT事務局と連絡のある関係機関
 - 医療
 - 一般社団法人日本医薬品卸売業連合会
 - 一般社団法人日本医療機器販売業協会
 - 一般社団法人日本産業・医療ガス協会
 - 帝人ファーマ株式会社 在宅医療事業本部
 - 交通
 - NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本
 - NPO法人日本福祉タクシー協会
 - 公益社団法人全日本トラック協会
 - 一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会
 - 公益財団法人東京防災救急協会
 - 通信及びその他の資源
 - 石油連盟
 - JAXA(独立行政法人宇宙航空研究開発機構)
 - ジャパンメディカルパートナーズ(伊藤忠商事)
 - シスコシステムズ合同会社

11

関係業界との連携2

- 都道府県における関連業界との協定締結
 - DMAT事務局が毎年、アンケート調査を実施
 - 災害時のDMAT活動に関わる通信、移動手段、医薬品、生活手段等の確保について、DMATへの支援に活用の可能性があるとされる民間事業者等と都道府県との間で締結されている災害応援協定
- 指定公共機関
 - 災害対策基本法において、公益的事業を営む法人等のうち内閣総理大臣が指定するものを指定公共機関と位置付けている(第2条第5号)
 - 指定公共機関は、防災業務計画の策定を始めとして、災害予防・応急・復旧等において重要な役割が求められる

12